



全日本オールドタイマーアイスホッケー大会

(第14回 Over-60、第10回 Over-70) 開催要項

- 1 大会名 2025年度全日本オールドタイマーアイスホッケー大会
- 2 趣旨 生涯スポーツとしてアイスホッケーを楽しみ、勝敗にこだわらず、競技者同士の交流と親睦を深めることを目的とする。
- 3 主催 公益財団法人日本アイスホッケー連盟
- 4 主管 兵庫県アイスホッケー連盟
- 5 期日 2026年4月10日(金)～12日(日)
- 6 会場 (1) 尼崎スポーツの森 アイススケートリンク
〒660-0096 兵庫県尼崎市扇町43 電話 06-4869-3122
(2) シスメックス 神戸アイスクャンパス
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2番5 電話 078-330-6504
- 7 入場料 無料

【Over-60 の部】

- 8 参加資格
 - (1) 公益財団法人日本アイスホッケー連盟にオールドタイマー登録をされ、かつ上記2の趣旨に賛同できる役員・選手とする。
 - (2) 地区を代表する単独チームでの参加を原則とするが、参加選手数が満たないは、ブロック選抜としての参加を認める。ただし、公益財団法人 日本アイスホッケー連盟生涯スポーツ委員会に承認を求めること。
 - (3) 選手は、男性の場合は1966年(昭和41年)3月31日(4月1日生まれを含む)以前生まれ、女性の場合は1976年(昭和51年)3月31日(4月1日生まれを含む)以前生まれの者とする。
 - (4) 選手のエントリーはOver-60のみとし、同一選手のOver-70へのエントリーは認めない。
 - (5) スポーツ安全保険等傷害保険に未加入の選手の参加は認めない。参加チームの責任者が責任をもって管理する。日本アイスホッケー連盟及び兵庫県アイスホッケー連盟は加入致しません。
 - (6) 外国籍を有する者の登録は、1チーム2名以内とする。
- 9 参加制限 出場チーム数は、下記のとおり17チームとする。過不足が生じた場合は、公益財団法人日本アイスホッケー連盟生涯スポーツ化委員会において調整することができる。

北海道ブロック：4、東北ブロック：2、関東ブロック：2、東京ブロック：4 北信
越・東海ブロック：1、近畿ブロック：2、中四国九州ブロック：1、
開催地(近畿ブロック)：1、推薦：1

10 競技規則

- (1) 原則としては、国際アイスホッケー連盟の競技規則を適用する。但し、大会の趣旨に則り、次に掲げる事項を生涯スポーツ委員会の独自規定として追加する。
- (2) ボディチェックは禁止とし、違反した場合はマイナーペナルティーを課す。
- (3) シュートおよびパス等でスティックを膝上に上げた場合、上げた時点でマイナーペナルティーを課す。
- (4) 1 ゲームで3回のペナルティを受けた選手はゲームアウトとする。
- (5) ハイブリットアイシングは適応しない。
- (6) アイシングの際の交代を認める。
- (7) 薄型軽量の旧式タイプのヘルメットの着用は禁止する。
- (8) 眼鏡使用者は、フルフェイスマスクの着用を義務付ける。
※その他の選手もフルフェイス着用を推薦する。
- (9) エルボーの露出、ショルダー及びレガースの未着用など危険な防具着用方法は禁止する。
- (10) 日本リーグ経験者及び各国代表経験者等については、同時に氷上でプレーできる選手は2名（GK 除く）までとする。同時に3名が出場する可能性もあるが、チームで制御いただくことで、この場合のペナルティは課さない。
- (11) 新ルールを適用する（ただし、コーチチャレンジ及びゴール裏の GK 制限区域に関する規則を除く。）
- (12) ストッキングの色は同系色とすることを義務づける。
- (13) ダウンストラップ、ネックガードは義務付ける。マウスピースは推奨する。

11 競技方法

- (1) リンク戦（隣同士になった2チームと対戦する。）を2ブロックで行い、勝チームには2ポイント、負チームには0ポイント、引き分け両チームには1ポイントを与える。
- (2) 同ポイントの場合、①総ペナルティ時間の少ない順に順位を決め、それでも決しない場合は、②チームの選手の平均年齢の高い順に順位を決める。参加申込時のメンバー表の平均年齢で決めるのではなく実際に試合に出場した選手の平均年齢で順位を決定する。（カウントするメンバーに女子は含まない。各カテゴリーの参加資格条件に合致する選手のみを対象とする。例として over60 に 70 歳以上の選手は対象としない。）
- (3) リンク戦の順位によりブロック1位同士で決勝戦、2位同士で3位決定戦を行う。なお決着がつかない場合は1名ずつのサドンデス方式の「ペナルティーショット・シュートアウト」により勝敗を決定する。
- (4) 競技時間は各ピリオド正味15分、練習5分、インターバル5分とする。
なお、すべての試合において、10点差以上の得点がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムはランニングタイムで行います。点差が9点以下になってもランニングタイムは継続される。ゲームタイムはレフェリーが必要と認めた場合以外は止めないものとする。

- (5) タイムアウトは設けない。

【Over-70 の部】

1 2 参加資格

- (1) 公益財団法人日本アイスホッケー連盟にオールドタイマー登録をされ、かつ上記 2 の趣旨に賛同できる役員・選手とする。
- (2) 地区を代表する単独チームでの参加を原則とするが、参加選手数が満たない場合は、ブロック選抜としての参加を認める。ただし、公益財団法人日本アイスホッケー連盟生涯スポーツ委員会に承認を求めること。
- (3) 選手は、男性の場合は 1956 年（昭和 31 年）3 月 31 日（4 月 1 日生まれを含む）以前生まれ、女性の場合は 1966 年（昭和 41 年）3 月 31 日（4 月 1 日生まれを含む）以前生まれの者とする。
- (4) 特例措置として、男性の場合は 1956 年（昭和 31 年）4 月 2 日から 1959 年（昭和 34 年）4 月 1 日までに生まれた者、女性の場合は 1966 年（昭和 41 年）4 月 2 日から 1969 年（昭和 43 年）4 月 1 日までに生まれた者についても参加を認める。
特例措置として GK の 65 歳以上の参加を認める。
- (5) 選手のエントリーは Over-70 のみとし、同一選手の Over-60 へのエントリーは認めない。
- (6) スポーツ安全保険等傷害保険に未加入の選手の参加は認めない。参加チームの責任者が責任をもって管理する。日本アイスホッケー連盟及び兵庫県アイスホッケー連盟は加入致しません。
- (7) 外国籍を有する者の登録は、1 チーム 2 名以内とする。

- 1 3 参加制限 出場チーム数は、8 チームとする。過不足が生じた場合は、公益財団法人日本アイスホッケー連盟生涯スポーツ化委員会において調整することができる。

1 4 競技規則

- (1) 原則としては、国際アイスホッケー連盟の競技規則を適用する。但し、大会の趣旨に則り、次に掲げる事項を生涯スポーツ委員会の独自規定として追加する。
- (2) ボディチェックは禁止とし、違反した場合はマイナーペナルティーを課す。
- (3) シュートおよびパス等でスティックを膝上に上げた場合、上げた時点でマイナーペナルティーを課す。
- (4) 1 ゲームで 3 回のペナルティを受けた選手はゲームアウトとする。
- (5) ハイブリットアイシングは適応しない。
- (6) アイシングの際の交代を認める。
- (7) 薄型軽量の旧式タイプのヘルメットの着用は禁止する。
- (8) 眼鏡使用者は、フルフェイスマスクの着用を義務付ける。
※その他の選手もフルフェイス着用を推薦する。
- (9) エルボーの露出、ショルダー及びレガースの未着用など危険な防具着用方法は禁止する。

- (10) 日本リーグ経験者及び各国代表経験者等については、同時に氷上でプレーできる選手は2名（GK 除く）までとする。同時に3名が出場する可能性もあるが、チームで制御いただくことで、この場合のペナルティは課さない。
- (11) 新ルールを適用する（ただし、コーチチャレンジ及びゴール裏の GK 制限区域に関する規則を除く。）
- (12) ストッキングの色は同系色とすることを義務づける。
- (13) ダウンストラップ、ネックガードは義務づける。マウスピースは推奨する。

1 5 競技方法

- (1) リンク戦（隣同士になった2チームと対戦する。）を行い、勝チームには2ポイント、負チームには0ポイント、引き分け両チームには1ポイントを与える。
- (2) 同ポイントの場合、①総ペナルティ時間の少ない順に順位を決め、それでも決しない場合は、②チームの選手の平均年齢の高い順に順位を決める。参加申込時のメンバー表の平均年齢で決めるのではなく実際に試合に出場した選手の平均年齢で順位を決定する。（カウントするメンバーに女子は含まない。各カテゴリーの参加資格条件に合致する選手のみを対象とする。例として over70 に 80 歳以上の選手は対象としない。）
- (3) 競技時間は各ピリオド正味 15 分、練習 5 分、インターバル 5 分とする。なお、すべての試合において 10 点差以上の得点がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムはランニングタイムで行います。点差が 9 点差以下になってもランニングタイムは継続される。ゲームタイムはレフェリーが必要と認めた場合以外は止めないものとする。
- (4) タイムアウトは設けない。

【以下全部門共通】

1 6 役員・選手

- (1) 競技出場者は GK 1 名以上 2 名以内を含め 22 名以内とし、役員のベンチ入りは 6 名以内とする。選手は役員（監督）を兼任できる。GK が 1 名の場合は、メンバー表のプレイヤーの 1 名を予めサブキーパーとして明記すること。
- (2) GK 登録が 1 名のチームが、不測の事態でサブキーパーに交代する場合は、10 分間の準備時間を与える。

1 7 申込方法

- (1) 選手・役員の申込人数に制限は設けない。（参加申込書は 1 通で 22 名となっているので、22 名を超える場合は 2 通作成ください。）
- (2) 参加申し込み用電子データを公益財団法人日本アイスホッケー連盟ホームページからダウンロードすること。 <https://www.jihf.or.jp/jihf/format.php>
ダウンロードがうまくいかない場合は、公益財団法人日本アイスホッケー連盟（jihf@jihf.or.jp）へ問い合わせること。
- (3) 参加申し込み用電子データにインプット後、電子メールにて次の 2 箇所へ送信し、なおかつプリントアウトし、所属加盟団体を通じて郵送すると。



【送付先】

(正) 公益財団法人日本アイスホッケー連盟

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘 4-2 Japan Sports Olympic Square 602

TEL:03-5843-0375 FAX:03-5843-0376 e-

mail : jihf@jihf.or.jp

(副) 兵庫県アイスホッケー連盟

〒661-0011 兵庫県尼崎市東塚口町 1-11-1-619

TEL : 担当 柳田 昌宏 090-3676-5951

e-mail : info@hyogoihf.jp

締切日 : 令和 8 年 (2026 年) 1 月 31 日 (土) 期日厳守

1 8 組合抽選 令和 8 年 2 月 7 日 (土) 迄に実施する。

主管連盟、兵庫県アイスホッケー連盟が公益財団法人日本アイスホッケー連盟生涯スポーツ委員会の立会いのもとに抽選を行う。また、同じブロックのチーム同士が対戦しないように取り扱うこととする。

1 9 参加料 1 チーム 130,000 円を申込みと同時に主管連盟 (下記口座) に納入する

こと。その際、振込人名義はチーム名で行うこと。

【振込先】三井住友銀行 豊岡支店 普通 3673468

【名 義】 兵庫県アイスホッケー連盟 会長 足立 優 (アダチ マサル)

2 0 棄権の罰則

(1) 申し込み締め切り後に棄権を申し出るチームは、公益財団法人日本アイスホッケー連盟及び兵庫県アイスホッケー連盟にその理由を添えて通知すると同時に、不参加料 130,000 円を納入すること。(参加料と相殺する。)

(2) 未納の場合は、納入のあるまで次回以降の本大会への出場は認めない。

2 1 その他

(1) 本大会における負傷・盗難等については、本連盟は一切責任を負わないので、各チームが責任を持って予め対処すること。

(2) シャトルバスの運行は行わないので、会場と空港・駅や宿舎等との移動は各チームで対応のこと。

(3) 防具等の荷物を直接リンクへ配送することはできないので、各宿泊場所等へ配送すること。

(4) 今大会は選手、役員、その他関係者による交流レセプションを開催します。

4 月 11 日 (土) 時間 (未定) マーカスクエア神戸 (神戸マリオットホテル内)

<https://www.marcus-kobe.com/> にて

詳細は別途連絡する。